

# 令和6年度 決算報告

「まちの魅力・賑わい創出」を図るため、道の駅の整備や高台開発の推進、大河ドラマを活用した誘客につながる事業を実施。第3次総合計画に掲げる5つの重点戦略・プロジェクトの実現に向けた事業に取り組みました。

また、令和5年度に引き続き、住民税非課税世帯などへの給付を行うとともに、定額減税補足給付やまきペイによるポイント還元などの「物価高騰対策」も行いました。

問い合わせ 財政課 伊藤 ☎0054

令和6年度決算状況から見る市の財政状況は「健全」です。国が自治体の財政状況把握のための指標を設けており、その指標に合わせ毎年、財政の健全性を確認しています。その状況を見てみましょう。

### ① 実質赤字比率

**黒字**



普通会計（一般会計と土地取得特別会計の計）の赤字の程度を示す比率で、財政運営の悪化の度合いを示します。  
本市は、収入総額が支出総額を上回っているため、黒字です。

### ② 連結実質赤字比率

**黒字**



本市の全ての会計を合計した収支の赤字比率です。  
①の実質赤字比率と同様に、特別会計や水道事業会計を加えても黒字の運営をしています。

### ③ 実質公債費比率

**6.0%**



市（一部事務組合などを含む）の借金の返済額の大きさを示す指標で、この比率が高いほど返済負担が大きくなります。借金をするために県の許可が必要となる基準18%を下回る6.0%となり、健全な状態です。  
(県下平均値5.5%（※指定都市を除く。）)

### ④ 将来負担比率

**— %**



借金返済や将来も支払わなければならない負担金などの残高を指標化したものです。この比率が高いほど、将来、財政が圧迫される可能性が高いこととなります。  
\* 充当可能な財源が将来負担額を上回っているため「—」と表示しています。

### ⑤ 資金不足比率

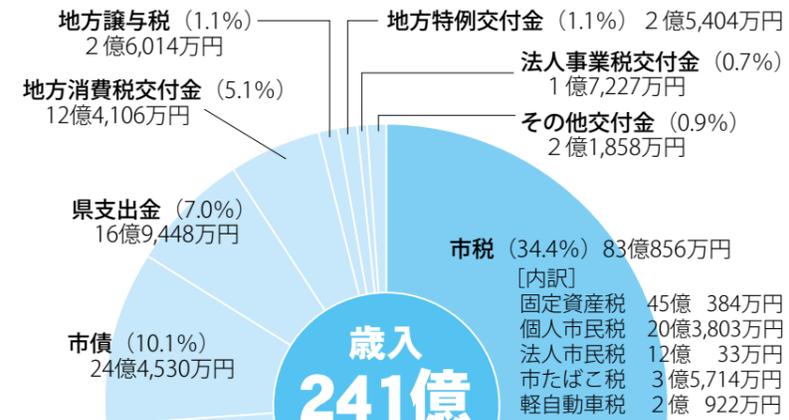
**黒字  
(資金不足なし)**



事業会計の料金収入に対する資金不足（赤字額）の比率で、経営状況の深刻度を示します。  
市の水道事業と農業集落排水事業については、資金不足はありません。

## 「まちの魅力・賑わい創出」、 「物価高騰対策」を推進

依存財源 131億9,304万円 自主財源 109億5,859万円



**歳入（収入）**

令和6年度一般会計の歳入は241億5163万円（前年度比+5.8%）で、市税は前年度比3億743万円（前年度比3.8%）の増額となりました。固定資産税の土地については、地価の下落により276万円減額し、家屋についても3年に1度の評価替えに伴う減価により3903万円減額しましたが、売却資産は市内主要法人の設備投資により6146万円の増額

となり、前年度を上回りました。また、繰入金は減債基金や多目的体育館整備完了に伴う基金繰入金の大幅な減少により、前年度比9億3382万円（前年度比△85.0%）の減額、諸収入は補助金・助成金の減により前年度比2億4455万円（前年度比△32.2%）の減額となりました。

しかし、市債は相良総合グラウンド人工芝生化学業などの実施により前年度比13億6230万円（前年度比+125.8%）の増額となりました。

**歳出（支出）**

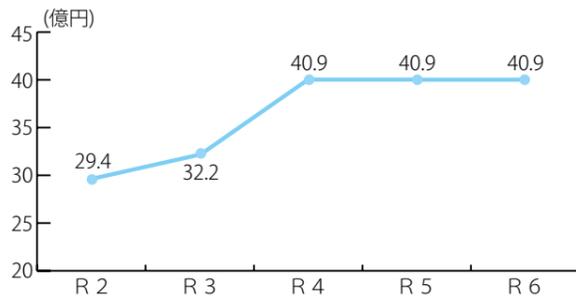
歳出は、231億3632万円（前年度比+5.9%）となりました。

大幅な増額、デジタル田園都市国家構想交付金の増額をはじめとし、国庫支出金は前年度比5億2093万円（前年度比18.0%）の増額となりました。そのほか寄附金などの増額もあり、歳入全体では前年度を上回りました。

地域資源を生かし、周辺地域からも人が訪れる拠点の創出に向けた道の駅「とら」と「牧之原」や周辺インフラの整備、子どもたちが安心して過ごせる教育・保育サービスの提供に向けた園運営の推進を行ったほか、魅力あふれる教育環境を整備する学校再編事業、「書かない窓口システム」の導入などによる住民サービスの向上や窓口業務効率アップの実現などに取り組みました。

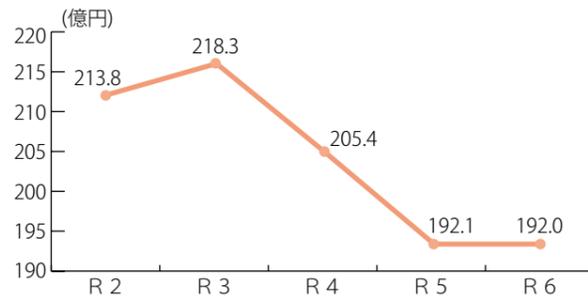
### 財政調整基金（貯金）の推移

前々年度および前年度と同額になりました。事業費の年度間の調整財源として活用しています。



### 市債残高（借金）の推移（普通会計）

借入額が前年度と比較すると、大幅に増額となりました。借入額が返済額より少なかったため、前年度より市債残高が減少しました。



### 水道事業会計（企業会計）

区分	収入	支出
収益的収支	9億9,591万円	10億370万円
資本的収支	9,281万円	2億6,334万円

収益的収支 = 水道事業を運営するための収支を表したものの  
資本的収支 = 配水池の建設や管路の整備など、資産の整備と企業債償還金などの支出、その財源となる収入の収支を表したものの

水道事業会計（企業会計）は地方公営企業法に基づき設けた水道事業を行う特別会計で、民間企業と同様の経理や決算を行います。

### 特別会計

特別会計名	歳入	歳出
国民健康保険	48億2,491万円	46億1,476万円
後期高齢者医療	7億308万円	7億1万円
介護保険	44億9,696万円	43億6,577万円
土地取得	1,869万円	1,869万円
農業集落排水事業	887万円	748万円

特別会計は市が特定の事業を行うために、一般会計と区別して設けるもので、特別会計ごとに決算を行います。

# 令和6年度に実施した主な事業

## 防災

- ▼**広域消防施設整備事業**(1億8501万円) 消防費 市内の消防力強化を図るため、令和8年4月から牧之原消防署榛原出張所を開所するに当たり、土地・建物の取得などを実施。
- ▼**地頭方漁港海岸保全施設整備事業**(1億4995万円) 農林水産業費 海岸背後地に居住する住民の生命・財産を津波被害から守るため、護岸の高上改良工事に伴う擁壁工事を実施。
- ▼**静岡地域消防広域化事業**(6億7671万円) 消防費 災害時における管轄区を超えた消防・救急活動が展開できるように、地域消防の広域化を継続。
- ▼**被災者生活再建支援システム導入**(270万円) 総務費 大規模災害発生時に被災者支援業務の効率化や被災者の迅速な生活再建を実現するため、一元的な管理が可能なシステムを導入。

## 健康福祉

- ▼**子どもの居場所整備事業**(6007万円) 民生費 子どもたちが安心して過ごせる環境で、将来の自立に向けて生き抜く力を育むため、「子ども第二の居場所」の整備を実施。
- ▼**養護老人ホーム相寿園非常用発電機改修事業**(1839万円) 民生費 在宅生活が困難な高齢者を受け入れるセーフティネットとして機能する相寿園の非常用発電機取替工事を実施。
- ▼**子どものための教育・保育給付事業**(9億2813万円) 民生費 多様なニーズに合った教育・保育を提供し、保護者の負担軽減を図るため、市内私立保育所および認定こども園などに対する給付事業を実施。
- ▼**不妊治療費助成事業**(218万円) 衛生費 妊娠を望む夫婦の経済的負担の軽減と治療に向かいやすい環境づくりのため、治療に係る医療費助成を実施。
- ▼**地域医療振興事業**(48万円) 衛生費 市内地域医療の人材を確保するため、地域の魅力を活用した全国の医療従事者対象サマーフィンを大会を実施。

## 教育文化

- ▼**義務教育学校建設事業**(3億1308万円) 教育費 学校施設基本構想・基本計画に基づき、榛原・相良義務教育学校建設における設計業務委託などを実施。
- ▼**大河ドラマ「べらぼう」活用推進事業**(5710万円) 教育費 市の魅力を発信し、観光客の増加や地域のにぎわい、郷土愛の醸成を推進するため、大河ドラマ「べらぼう」を活用したイベントなどへの支援を実施。
- ▼**グラウンド芝生化事業**(3億6372万円) 教育費 市のスポーツ拠点として、各種大会の開催や合宿などを誘致し、地域経済の活性化を図るため、相良総合グラウンドの人工芝整備を実施。
- ▼**英語力向上サポート事業**(2006万円) 教育費 国際理解教育の推進や外国人とのコミュニケーションの向上を図るため、外国人英語指導助手の配置やイングリッシュキャンプを実施。
- ▼**ICT活用推進事業**(4328万円) 教育

## 産業経済

- ▼**道の駅そらっと牧之原関連整備事業**(11億9280万円) 農林水産業費・土木費 地域活性化や交流拠点の創出、地産地消の推進や地域農業の振興を図るため、道の駅の地域振興施設、休憩施設を整備するとともに、周辺道路の整備を実施。
- ▼**オーガニックまきはら推進事業**(661万円) 農林水産業費 荒廃農地の収益化と環境にやさしい農業の推進を目指すため、バイオ炭製造に関する業務委託や地域おこし協力隊による継続的な事業推進や本市発のブランドを活用した情報発信などを実施。



市内初の人工芝グラウンドとなった相良総合グラウンド(「静岡ブルーレヴズ」によるラグビー体験会)

- ▼**沿岸部活性化事業**(1389万円) 商工費 沿岸部の活性化や魅力的なにぎわいの創出を図るため、静波地区および地頭方地区において構想案の作成や芝生整備などを実施。
- ▼**RIDE ON MAKINOHARA** ポイント還元事業(4146万円) 商工費 原油高や物価高騰により大きな影響を受けている市民や市内事業者を支援するため、「まきペイ」を活用したポイント還元事業を実施。
- ▼**農業基盤整備事業**(2550万円) 農林水産業費 農作業の効率化や安定した農業生産および経営を図るため、施設の改修や更新を実施。



新たなにぎわいの拠点となっている道の駅「そらっと牧之原」

- ▼**都市基盤**
- ▼**新拠点開発推進事業**(2億524万円) 土木費 相良牧之原IC北側地区の新たな都市

## 生活環境

- ▼**公共交通推進事業**(2億381万円) 総務費 市民の生活交通や利用者の利便性の確保のため、路線バスや自主運行バス、デマンド乗合タクシー・バスの運行や環境整備などを実施。
- ▼**移住・定住促進補助事業**(3109万円) 総務費 子育て家族定住奨励金、結婚新生活支援助成金、移住就業支援事業補助金などの交付や首都圏での移住相談会やセミナーの参加、移住体験ツアーなどを実施。

## 市政経営

- ▼**ふるさと納税推進事業**(2億5323万円) 商工費 財源確保および市内産業の活性化のため、ふるさと納税の寄附者に対して、市内の魅力ある品(地場産品)の返礼を実施。
- ▼**デジタル田園都市国家構想交付金事業**(1195万円) 総務費 市民サービスの向上や職員の負担軽減を図るため、政府が創設した交付金事業を活用し、諸手続きのワンストップ化などを行う「スマート窓口サービス」を導入。
- ▼**シティプロモーション推進事業**(1085万円) 総務費 市の魅力を国内外へ発信するため、姉妹・友好都市との交流、PR活動をはじめとしたシティプロモーションや食文化に触れるガストロノミーを推進。
- ▼**静岡県大井川広域水道企業団出資事業**(7643万円) 衛生費 大井川広域水道企業団と榛南水道を統合し、経営の合理化および業務の効率化を図るため、送水管などの整備における負担金の繰出を実施。

費 牧之原市教育振興基本計画における「学習の基盤となる情報活用能力を育成する」ため、ICT支援員の配置やICT環境の整備などを実施。